

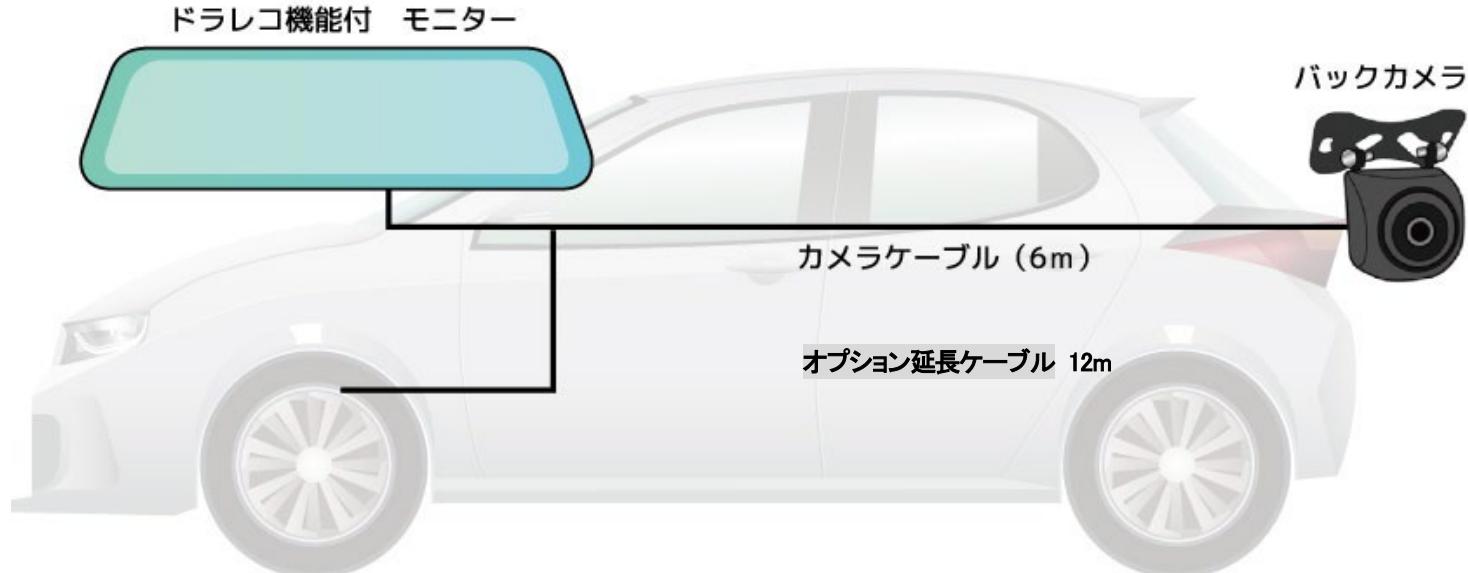
# AI機能付 前後ドラレコ機能付 ルームミラー取付型 9.6インチLCD バックカメラセット

取扱説明書

型番 CAR-S-BACKAI-D9HINCH

このたびは、弊社商品をお買い上げいただきありがとうございます。  
ご使用の前に本取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

12V専用



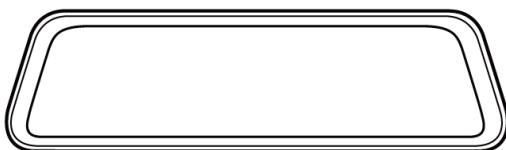
## <特徴>

- 200万画素の高精細AI機能付きバックモニターセット
- ミラー取付け型のドライブレコーダー機能付きモニター

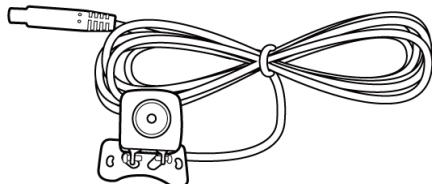
※カメラの映像は左右鏡像です。(バックミラーでの見え方と同じです)

設置前に必ず動作確認をしてください

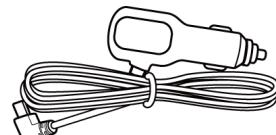
## 同梱品の確認



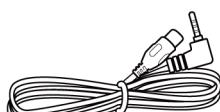
モニター  
(ドライブレコーダー)  
[»操作・設置方法はこちら](#)



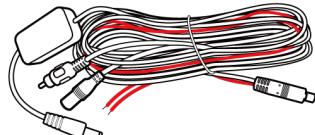
バックカメラ  
[»操作・設置方法はこちら](#)



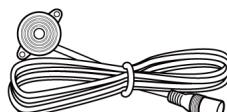
カーシガーエンジン  
(ドライブレコーダー用)



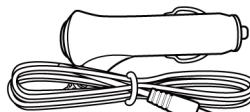
変換ケーブル



延長ケーブル



ブザー



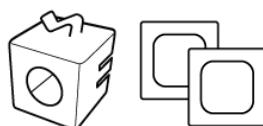
カーシガーエンジン  
(バックカメラ用)



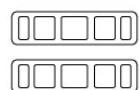
電源直結コード



バックカメラスタンド固定用  
ビス・両面テープ



カメラホルダー、  
カメラホルダー用両面テープ

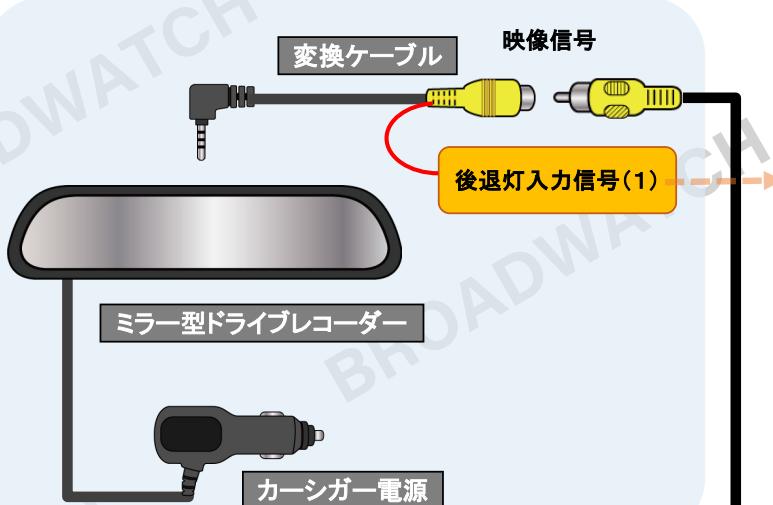


モニター取付け用  
ゴムバンド(2本)

# AIバックカメラの配線図(型番 CAR-S-BACKAI-D9HINCH)

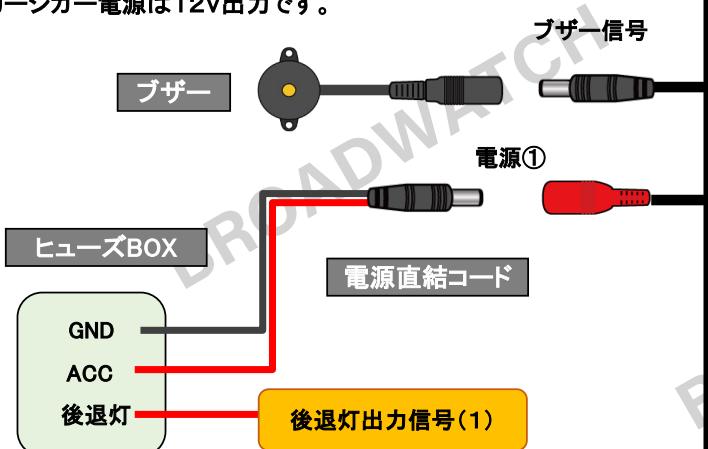
常時カメラをONにしてAI認識させ、LCDに表示させます。(運転席電源利用)

12V車専用



<後退時バックカメラ拡大表示したい場合>  
後退灯出力信号と接続します。

ドライブレコーダー用シガーデンバーは5V出力、  
カーシガーデンバーは12V出力です。



後退灯入力信号が無い時は  
ブザーは鳴りません。

後退灯入力信号(2)

<後退時のみ警告ブザーを鳴らしたい場合>  
後退灯出力信号と接続します。

<警告ブザーを使用しない場合>  
警告ブザーを取り外してください。

<常時警告ブザーを鳴らしたい場合>  
ACCに接続ください。

ヒューズBOXの代わりにカーシガーデンバーでも使用できます。

ヒューズBOX接続方法はこちら

延長ケーブル(6m)

<後退灯出力信号>

後退灯出力信号はヒューズBOX内(1)又は  
後退灯(2)の12V電源からとなります。

延長ケーブルから出ている2本の赤線は同じ線です。

延長ケーブルが短い場合は、  
オプションで12mを用意しています。

コネクタ部分はしっかり差し込んで止めてください。  
防水処理されています。

後退灯出力信号(2)

カメラ

バックカメラ

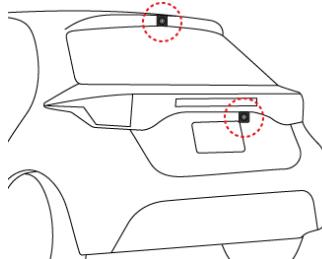
バックカメラ取付け方法参照

## バックカメラの取付け方法

※仮設をして、カメラの映像(向きや角度)を確認してから設置する位置を決めてください。

### 車外への取付け例

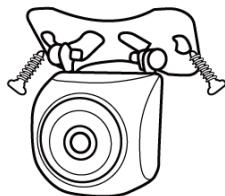
- ・リアスปイラー、ナンバープレートなど



#### <ビスまたは両面テープで固定する>

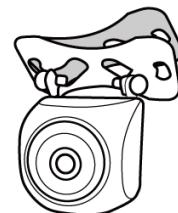
##### ■ビスで固定する

カメラスタンドを付属のビスで固定します。



##### ■両面テープで固定する

カメラスタンドを付属の両面テープで固定します。



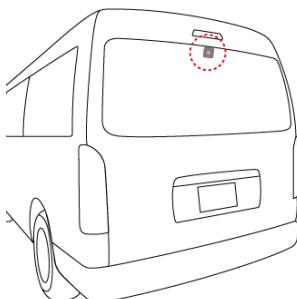
##### (ご注意)

- ・接着面の汚れを綺麗にふき取り、完全に乾かしてから貼り付けてください。
- ・貼り付けてから 24 時間は水に濡らしたり力を加えたりしないでください。
- ・フッ素樹脂加工された塗装面には貼り付けができません。
- ・貼り直さないでください。

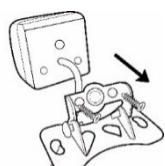
### 車内への取付け例

- ・リアガラス(濃いスマートフィルムを貼っている場合は不向きです。)

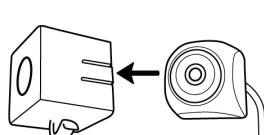
- ・車内天井部



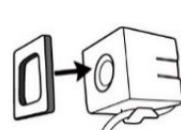
#### <カメラホルダーを使用してリアガラスに固定する>



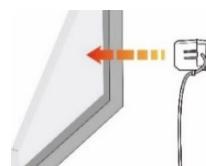
- ① カメラのスタンドを外します。



- ② 付属のカメラホルダーにカメラを入れます。



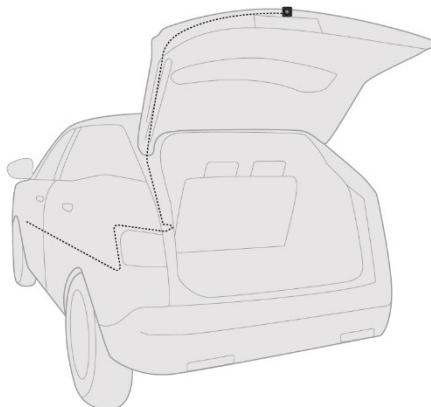
- ③ カメラホルダーのレンズ側に、付属の両面テープを貼ります。



- ④ ガラスに張り付けます。

## カメラケーブルの引き回し方法

- ・雨水などが侵入しないようにカメラのケーブルを引き込んでください。
- ・ドアやトランクの開閉でケーブルが引っ張られないよう、ケーブルは余裕をもたせて引き回してください。  
(※ケーブルの挟み込みにご注意ください。)
- ・カメラケーブルはアンテナ配線からできるだけ離して引き回してください。(テレビ・ラジオの音声にノイズが入ることがあります。)



### ケーブルコネクタ部について

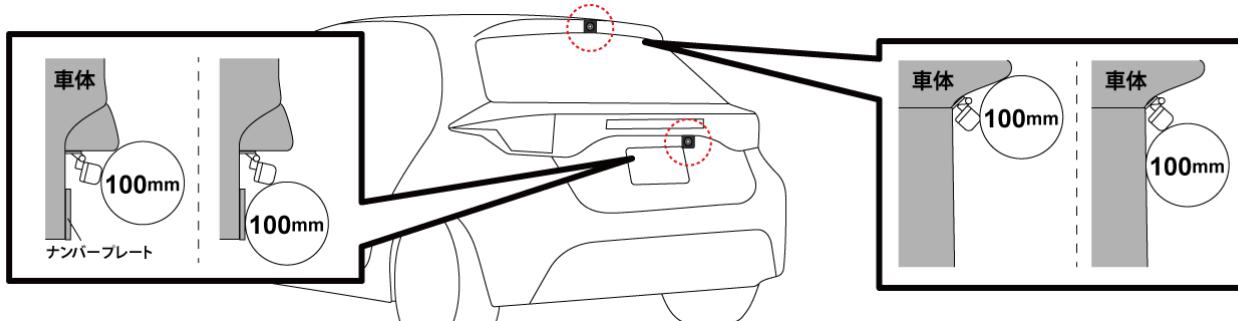
ケーブルコネクタ部は水のかからない車内へ設置してください。  
水のかかる部分へ設置する場合は、防水シールで防水加工をしてください。

### 取付けの注意

- 設置前にカメラの映像(表示向きや角度)をご確認ください。
- カメラを設置する場所の汚れをふき取ってから設置してください。
- 設置する場所は、なるべく左右中央になる位置にしてください。
- カメラが後方の視界を妨げない位置に設置してください。
- カメラの車外設置位置については「道路運送車両の保安基準」に従って取付けてください。  
(保安基準は改訂されることがあります。)

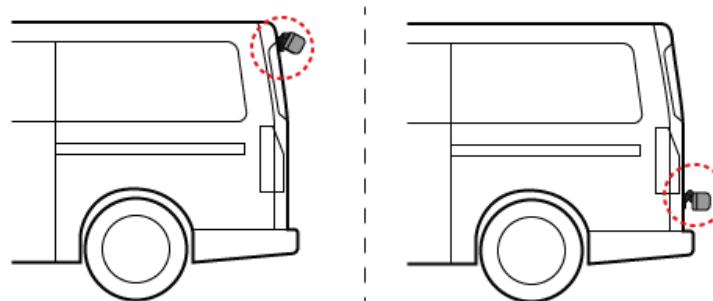
#### 【道路運送車両の保安基準】

カメラブラケットやカメラ本体後部が直径 100mm の球と接触しないように、リアスピイラーやリアガーニッシュなどの下面に装着する。



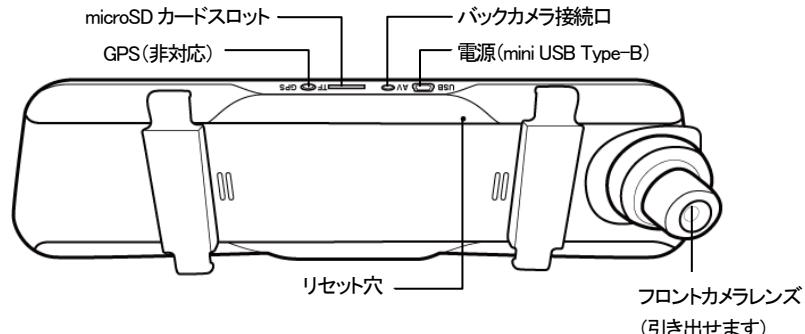
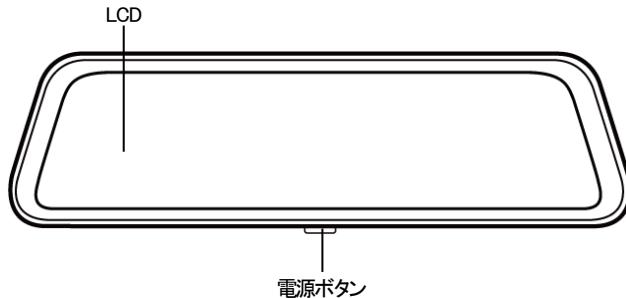
- カメラが車幅からはみ出さないように設置してください。

#### 誤った取付け例



- カメラ後部が車両に隠れるように設置してください。
- カメラがナンバープレートのナンバーを隠さないように設置してください。
- ドアやトランク開閉時にカメラやケーブルが干渉しないようにして下さい。

# 各部の名称



## ご使用前の準備

### 1. LCD モニター(ドライブレコーダー)本体を充電する

初めて使用するとき、充電が足らないと動作不良を起こす場合があります。

付属のカーシガーエンターテイメントアダプターをシガーソケットに差し込み、mini USB プラグを本体の電源ジャックに接続します。

本体の電源をオフにして約 1 時間程度充電してください。

### 2. microSD カード(別売)の準備

対応 microSD カード

記録メモリ	容量	スピードクラス
microSDHC	512GB まで	V10 以上
microSDXC		

#### 重要

microSD カードには、本機で記録したデータ以外入れないでください。

microSD カードは消耗品です。

3ヶ月に一回程度の初期化(フォーマット)、年に1回以上の交換を推奨します。

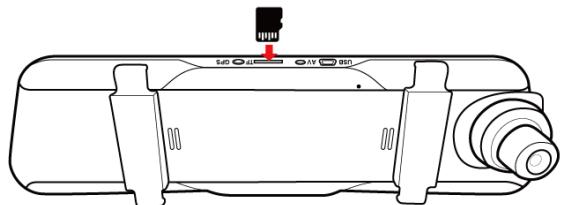
#### 1) microSD カードの挿入／取り出し

必ず本体の電源がオフの状態で行ってください。

microSD カード挿入口に、「カチッ」と音がするまで押し込みます。

※microSD カードの金属端子面がレンズ側を向くように挿入します。

取り出すときは、カードを押し込み、飛び出したカードを引き抜いてください。



#### 2) microSD カードの初期化(フォーマット)

① シガーソケットにカーシガーエンターテイメントアダプターをさし、本体の電源ジャックに接続して電源を入れます。

※電源オンと同時に録画が開始された場合は、録画 [●] をタップして録画を停止してください。

② 録画停止の状態で設定 [●] をタップし、設定を開きます。

③ 下ボタンで[SD カードを初期化]を選択し、フォーマットを実行してください。

※フォーマットすると、保護されたファイルもすべて削除されます。

### 3. 電源を入れて試し撮りをする

ドライブレコーダーを設置する前に、録画が正常に行われるか試し撮りを行ってください。

有効な microSD カードが挿入されていると、電源 ON と同時に自動で録画が開始されます。

※バックカメラの撮影データは 720P で保存されます。

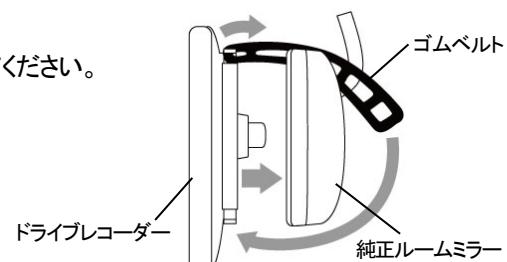
## LCD モニター(ドライブレコーダー)設置方法

### 1. 本体(フロントカメラ)を取付ける

付属のゴムベルトで純正ルームミラーに巻きつけて固定してください。

純正ルームミラーのサイズに合わせて、ゴムベルトの引っ掛け位置、レンズ位置を調節してください。

※レンズ、LCD表面には保護シートが貼ってあるので、剥がしてご使用ください。



## 電源操作

### 電源接続による自動電源 ON／OFF

電源の ON／OFF に連動して本体の電源も自動で ON／OFF します。

### エンジン連動機能

カーシガーモードアダプターに接続することで、エンジンの ON／OFF 連動して電源の ON／OFF ができます。

### 本体の電源ボタンによるオン／オフ

本体の電源ボタンを長押しすると、本体の電源を ON／OFF できます。

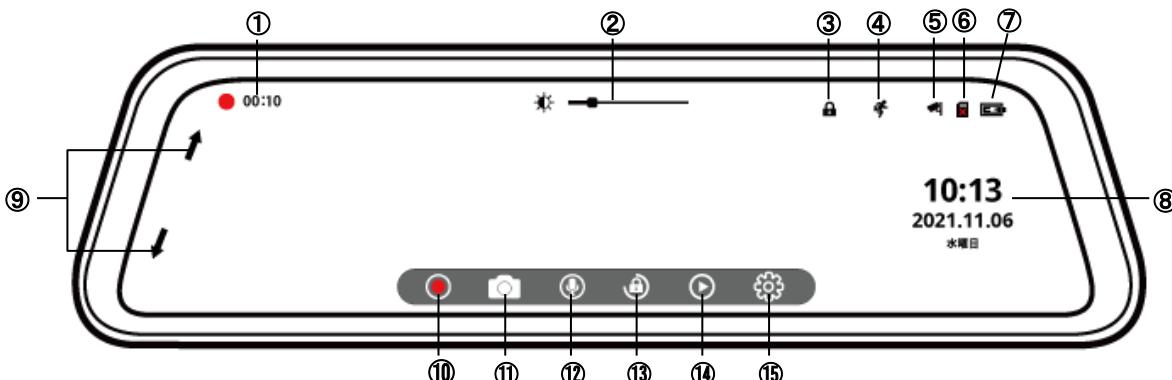
## 操作方法

電源ボタンを短押しすると、スクリーン表示の ON／OFF ができます。オフ時はバックミラーとなります。

電源ボタンを長押しすると、電源の ON／OFF ができます。(録画中に電源 OFF にすると、録画中のファイルを保存後に電源が切れます。)

### <画面操作>

- ミラー面が画面となりタッチパネル操作で動作します。
- 画面をタップすると、カメラ表示が切り替わります。(バックカメラ接続時)
- スクリーン OFF で画面タップをするとスクリーン ON になり、さらにタップするとメニューを表示します。
- 再生および設定は録画を停止してください。
- 手動で録画を停止した場合、操作がなれば再び録画が開始されます。



①	録画時間	②	画面の明るさ調節	③	ファイルをロックしている場合に表示
④	動体検知をオンにしている場合に表示	⑤	監視モードをオンにしている場合に表示	⑥	microSD カード未挿入時に表示
⑦	電池残量	⑧	日時表示	⑨	レンズの向き調節
⑩	録画 STOP/START	⑪	静止画撮影	⑫	音声録音の ON/OFF
⑬	録画中ファイルのロック ON/OFF	⑭	録画データの再生	⑮	設定項目の表示

## 設定

録画停止中に設定をタップすると、設定項目が表示されます。

項目	設定値	説明
解像度	1080P / 720P	録画の解像度を設定します。
サイクル録画	オフ / 1分 / 3分 / 5分	録画ファイルを設定した長さで分割します。
露出調整	-3 / -2 / -1 / 0 / +1 / +2 / +3	露出を補正します。
スクリーンセーバー	オフ / 1分 / 3分 / 5分	何も操作しない状態で設定した時間が経過すると自動でスクリーンオフします。
SDカード初期化	microSDカードをフォーマットします。	
日時設定	日時を設定します。	
動体検知	オフ / オン	オンにすると撮影範囲内で動体を検知すると自動で録画を開始します。
監視モード	オフ / 1fp/s / 5fp/s / 10fp/s	タイムラプスマードによって駐車監視を行います。 ※走行時はオフに戻してください。
ボタン音	オフ / オン	操作するときのボタン音の OFF / ON ができます。
言語の設定	使用言語の設定ができます。	
起動表示モード	フロントカメラ / 後部カメラ / 分割画面表示	起動時の表示を設定します。
工場出荷状態に戻す	すべての設定をクリアにし、工場出荷状態に戻します。	
バージョン番号	ファームウェアのバージョンです。	

### 取付けの注意

- 高温または低温になると動作不良や故障の原因となります。(LCD モニター動作温度:0~50°C)
- 振動や急ブレーキ等で動かないよう確実に固定してください。

## 電源・信号について

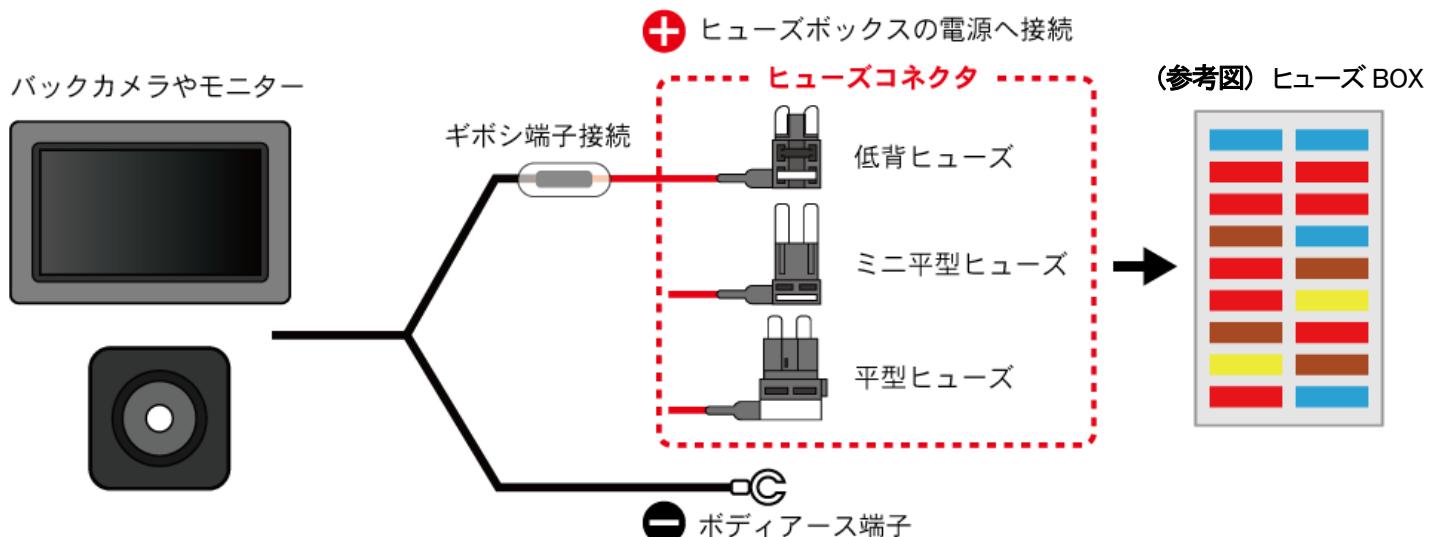
ACC	車のエンジンオンにより電源が供給される端子です。
B+(主電源)※	エンジンを切っても電源が供給されている端子です。(電源バッテリーと同様)
バック信号(+)※	後退灯の電源線や NAVI のバック信号線に接続します。
GND	ボディアース(車体に接続するマイナス線)です。 ボディアースが取れるのは、むき出しの部分で金属の鉄板になっている所です。(塗装部ではありません)

※機種によってはB+、バック信号線がないものがあります。

## ヒューズ BOX からの電源取り出し方法(ACC、B+、GND)

ヒューズ BOX は車種により位置や形状が異なるので、車種ごとに対応ください。

またヒューズコネクタ(別売)を使用する場合は車種に適合したヒューズコネクタを使用ください。



(参考図)

ヒューズ BOX ボルト部分からボディアースをとる



車体ボルトからボディアースをとる



## 後退灯から信号の取り出し方法

後退灯に連動した動作をさせるには、後退灯配線部分より信号を取り出します。

(参考図) 後退灯配線部分



## 設置配線の専門店依頼の場合

最寄りの車修理店、カーメンテ店等へご相談ください。

## 設置作業者用の注意事項

### 設置上の重要事項

#### 【取付けにおける免責事項】

- 1) 本製品を取付ける際、車両本体への穴あけやビス穴加工等が必要になりますが、お客様にて確認後加工をください。万一本製品の不具合や使用都合により使用をやめる場合、車両本体への加工についての現状復帰はお客様自身で行って下さい。販売店、設置業者(サービスショップ)及び製造元はいかなる場合においても一切の原状復帰要請には対応していません。
- 2) 製品の電源対応電圧(DC12V 又は DC24V)や極性を間違えた場合は、製品保証対象外となります。
- 3) 取付け前に仮配線をして動作確認後、設置ください。
- 4) 製品保証は製品のみの故障や不具合を対象としており、再設置等の費用補償は対象外です。

#### 【安全上のご注意】

- ・商品説明書の“安全上のご注意”をよく読んでお守りください。
- ・商品説明書の“安全上のご注意”及び“設置上の注意”を守らない場合、各種の事故、火災、感電の原因となります。

#### 取付けに必要な工具例(商品により異なります)

ドライバー、電動ドリル、六角レンチ、ハンディリムーバー、ワイヤーストリッパー、ニッパ、ラジオペンチ、ポンチ、カッター、定規、マスキングテープ、ケプラー手袋、融着テープ又はビニールテープ、配線止(結束バンド等)

### 設置上の注意

- ・ プラスとマイナス経路の短絡はしないでください。
- ・ 作業内容によりケプラー手袋を装着し、手を保護してください。
- ・ 本機を次のような場所には取付けないでください。  
前方の視界を妨げる場所や、ステアリング、シフトレバー、ブレーキペダルなどの運転操作を妨げる場所など運転に支障をきたす場所。
- ・ 車体のボルトやナットを使用して機器の取付けやアースを取る場合は、ステアリング、ブレーキ系統やタンクなどの保安部品のボルト、ナットは絶対に使用しないでください。
- ・ ヒューズを交換するときは、必ず規定容量(アンペア数)のヒューズを使用してください。
- ・ 電源コードの被覆を切って、他の機器の電源を取ることは絶対にしないでください。
- ・ 接続したコードや使用しないコードの先端など、被覆がない部分は絶縁性テープ等で絶縁してください。
- ・ コード類は、運転操作の妨げとならないよう、テープ等でまとめて固定してください。
- ・ 車体のねじ部分、シートレール等の可動部にコード類をはさみ込まないように配線してください。
- ・ 配線図で指定された通りに接続してください。
- ・ コード類の配線は、高温部を避けて行ってください。
- ・ ヒューズ等部分を外したり、切断したりしないでください。
- ・ 電源用リード線をバッテリーに直接接続しないでください。
- ・ 本機を車載用として以外は使用しないでください。

### 設置、配線方法

各製品の説明書を読んで設置ください。

配線場所やリレーBOXへの接続は使用する車両に合わせて設置ください。

### 動作確認

設置前に配線を接続し製品の動作確認をしてください。

設置後に製品の動作確認をして下さい。調整が必要な製品は、各製品の説明書を読んで調整ください。

## 安全上のご注意

※ご使用前に、「安全上のご注意」を必ずお読みの上、正しくご使用ください。

### ●表示の説明

△警告 取扱を誤った場合、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。

△注意 取扱を誤った場合、人が損害を負う、または物的損害が発生する可能性が想定される内容です。

### ●絵記号の説明

(○) 禁止の行為を示します。 (●) 実行しなくてはならない内容を示します。

#### 警告

- ① 异常現象(煙、異音、異臭など)が発生した場合は、すぐに電源を抜いて製品サポート又は販売元までご連絡ください。
- ① 本製品の取付け及び配線コードが運転やエアバックの動作の妨げにならないようにしてください。ケガや事故の原因となります。
- ① 本製品の設置や配線は専門的な知識が必要です。専門知識や技術がない場合は専門技術者にご依頼ください。誤った設置や配線は事故や故障の原因となります。
- ① 配線作業時は必ずバッテリーのマイナス端子を外してから行ってください。外さずに作業を行うとショートや火災の原因となります。
- ① 接続端子は奥まで確実に差し込んでください。
- ② 本製品はDC12V車で動作します。それ以外の電圧車両には取付けないでください。
- ② お客様による修理、分解、改造は火災や感電、故障の原因となりますので、絶対におやめください。
- ② 異物、油滴、液体を入れないでください。火災や感電、故障の原因となります。
- ② 視界を妨げる場所、運転を妨げる場所に設置しないでください。
- ② サンシェードをご使用の場合は、本製品をフロントガラスとサンシェードの間に挟み込まないでください。高温になり故障や火災の原因となる恐れがあります。
- ② 布をかけるなど本製品の放熱を妨げるような使用をしないでください。発火の原因となります。
- ② 運転手は走行中に操作をしたりモニターを注視したりしないでください。
- ② 本製品や付属品、梱包材はお子様の手の届くところに置かないでください。誤嚥や窒息、ケガの原因となります。
- ① 本製品の配線および設置は説明書に従って正しく行ってください。誤った配線や設置は、事故や故障の原因となります。

#### 注意

- ① 電源コネクタや端子の汚れは綺麗にふき取って接続してください。また、端子は確実に差し込んでください。不十分な接続は動作不良、感電、発熱、火災の原因となることがあります。
- ① 本製品の設置は確実に行ってください。落下してけがや故障の原因となることがあります。
- ② 機器を落としたり、強い衝撃を与えたたりしないでください。
- ② 不安定な場所に設置しないでください。落下してけがや故障の原因となることがあります。
- ② 濡れた手で操作をしないでください。感電の恐れがあります。
- ② 車外にカメラを設置した場合は、高圧力での自動洗車は行わないでください。
- ② モニターに同一画面を長時間表示すると、画面が焼き付いてダメージを与えます。電源を切るなどして同一画面を長時間表示させないようにしてください。
- ② モニターの画面に圧力をかけたり、引っかいて傷をつけたりしないようにご注意ください。
- ② 次のような場所では使用及び保管しないでください。(油煙や湯気が直接当たる場所。熱器具、加湿器の近く。可燃性ガスのある環境。炎天下、高温な環境。)

#### 【AI機能、モニター機能について】

本製品は運転を補助する装置として使用するもので、運転の安全についてはお客様ご自身で十分に確認してください。

AI機能は画像をもとに判断しています。天候やカメラの状態、服装や装備によって判別しにくい場合、誤作動を起こす場合があります。

- 撮影データに関しては一切の責任を負いかねます。他者の著作権、肖像権等を侵害しない範囲でご使用ください。
- 本製品の使用によって発生した損害、被害に関しては一切の責任を負いかねます。
- 急激な明るさの変化は録画品質が一時的に落ちます。
- 他の電子機器と電波干渉する場合は、設置場所を変えてみてください。
- この機器の保証は国内に限り有効です。
- カメラ以外は防塵、防水仕様ではありません。

## 仕様 ※仕様は予告なく変更される場合があります。

【バックカメラ】型番:CAR-CAM-MAI1080P

解像度	200万画素	レンズ画角	対角約130°
画像	鏡像／ガイドライン有	出力信号形式	AHD
AI認識	人及び車(エリア設定有)	コネクタ	M4-4ピンコネクタ
電源	DC12V/1A	最低照度	0.1LUX
動作温度	-10~50°C	防水機能	IPX7相当
本体サイズ(ケーブル・スタンド除く)	約23×23×25mm		
質量(ケーブル・スタンド含む)	約40g		

【ドライブレコーダー】型番:CARTM-2C1080P-9INCH

LCD	9.6インチ	電源	DC12~24V
バッテリー容量	450mAh	材質	本体:ABS、レンズ:強化ガラス
ビデオ録画	200万画素		
レンズ画角	対角約135°		
メモリーカード	microSDカード(最大512GB、V10以上)		
質量	約310g	本体サイズ	約260×73×40mm

【延長ケーブル】約6m

## サポート

お問い合わせはこちら



お客様サポートサイト

<https://www.broadwatch.jp/support/>

製品保証書

型番: CAR-S-BACKAI-D9HINCH

お買い上げ日

販売店名

※お買い上げ時のレシートも一緒に保管してください。

保証期間: お買い上げ日より1年間

保証期間内に正常な使用で故障が発生した場合、保証規定に基づき、製品の保証を行います。

※保証規定はプロードウォッチのホームページをご確認ください。ご購入日が記載された書類(レシート、領収書、納品書、保証書、メール等)のいずれかを必ず保管してください。製品保証を受ける際に必要になります。